

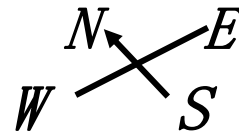
藤沢エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2024年10月1日

第365号



主な記事

- ・台風10号による藤沢の被害状況
- ・平和の波行動
- ・六会ふるさとまつり開催
- ・ふくしまっ子リフレッシュn湘南
- ・気候危機は待ったなし！市民講演会

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

自民党の総裁選挙と石破新内閣の今後について

9月12日から始まった自民党の総裁選挙は、9月27日石破茂氏を新総裁に選出して終わった。立候補者は、石破氏を含め9人、高市早苗氏、小泉進次郎氏、河野太郎氏なども立候補していた。今回の総裁選は、裏金問題、統一教会問題で行き詰まった岸田前首相が、自民党総裁選不出馬を表明したことから始まったものだが、政策問題では、候補者こそって憲法9条改正を口にしなが、国民が知りたかった自民党の裏金問題、統一教会問題にはどの候補も一切触れずにやり過ごしていたことが特徴的であった。そして15日間、候補者が代わる代わるテレビに出演し、自民党がテレビジャックでもしたかのように、国民は自民党の総裁選のニュースを見させ続けられたのである。このような次の総選挙を睨んでの自民党のマスコミ取り込み作戦に、安易にのるようなマスコミの姿勢も正されねばならない問題である。

総裁選の結果は、石破茂氏の当選で終わったが、10月1日に内閣を発足させた石破氏がどのような政策を実行するかが問題である。石破氏は総裁選で「日本をまもる」「国民を守る」などのスローガンをかけていたが、「国民をまもる」の項では、物価に負けない賃上げなどと主張していたが、円安による物価高、自給率低下による農産物の高騰、国民総生産GDP低下による経済の低迷に、何ら具体策は示されていなかった。また、地方再生問題も掲げていたが、過疎化が進む地方の再生についても具体案は示されていなかった。

「日本をまもる」の項では、憲法改正を第一に掲げ、国会での議論を促進し、在任中に発議を実現すると表明していた。重大なのは、アジア版NATOのような集団的安全保障を提唱していることである。この構想は、自衛隊を海外に派遣することを可能とする危険な構想であり、これでは日本の安全を守るどころか、アジア地域の軍拡競争を煽り、緊張をさらに激化させる危険な道に踏み込むことになりかねない。

国民の関心の深い統一協会と自民党との癒着問題も、石破氏は、再調査に後ろ向きの姿勢で、金権腐敗政治の元凶である企業・団体献金禁止問題にも背を向けていた。これでは、国民の信をえることは出来ない。石破氏の前途は多難といえるだろう。

(小林 麻須男)



(遅咲きの小出川彼岸花)

台風第 10 号による藤沢の被害状況

台風 10 号の概要

この台風は 8 月 22 日マリアナ諸島で発生し、北上し非常に強い勢力に発達した。29 日には鹿児島に上陸し、その後東進し四国沖を経て、東海道沖で熱帯低気圧となった。その間、九州や関東では長時間雨雲がかかり、静岡県では総雨量が 900 ミリを超えた。神奈川県内でも二宮町・平塚市で記録的な大雨となった。県内の被害は建物全壊 1 棟、床上浸水 29 棟、床下浸水 38 棟と少なくなかった。

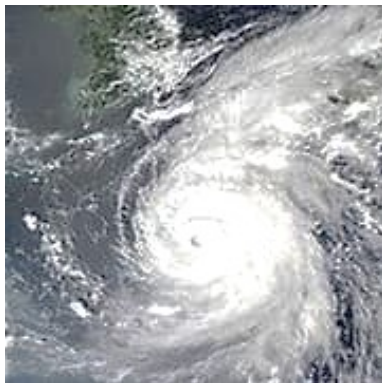
藤沢市内の被害の状況

藤沢市では大雨警報が 29 日から 9 月 2 日まで、浸水害・土砂災害警報が継続もしくは断続的に出された。そうした中で藤沢市は 8 月 30 日、合計 52160 世帯 115350 人に「避難指示（警戒レベル 4）」を発令した（翌日には解除）。

この台風による影響が小さくなかったことは被害報告からうかがえる。市内で床上浸水 1 棟、床下浸水 7 棟あったし、道路の冠水は 54 件、車両水没が 3 件、道路の土砂流出 1 件があった。また倒木も 3 件起きて、場所によっては深刻な状況だったと言える。

藤沢市と市民の対応

市は避難指示とともに避難所を 76 施設で開設し危険を周知した。避難所は 47 施設で延べ 223 人が利用し、問い合わせも 74 件あった。その他市は排水ポンプの巡視や、土のうの配布を行った。結果として市内では人的な被害がなかったことは、関係機関の努力の結果として評価できよう。市民側も台風の手がゆるりだったこと、マスコミが早くから警戒を呼びかけたことから、避難行動に繋がり、結果行政も市民も防災への理解が深まったし、防災準備が大切であることに思い至ったでき事だった。（菅谷芳雄）



九州に向かって北上する台風 10 号:この画像は
SSEC/CIMSS, University of Wisconsin-Madison に帰属

平和の波行動

核のない世界平和の実現を願って、4 年前から親子で 8 月 9 日におこなわれる宇都母知神社での平和の波行動に参加させて頂いています。

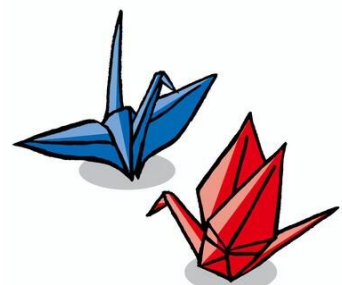
昨年私は仕事で参加出来ませんでしたが、私の代わりに今小学 3 年生の息子が、「僕は天庭の代表！」と張り切って参加してくれました。

普段の生活の中で、子どもと戦争の話をする機会はありませんが、8/6 の朝には家のテレビで、広島原爆追悼式を観ながら一緒に黙祷をしたり、8/9 には宇都母知神社で皆さんと鐘をついて、平和な暮らしを祈り、願う事で、私自身改めて平和な日常生活を送れている事への感謝の気持ち、これからも子ども達へ平和な世の中を存続させていかなくてはならない気持ちなどを思い起こさせて頂いています。



子ども自身はまだまだ理解していない事も多いと思いますが、このように少しでも戦争や原爆の恐ろしさ、平和である事の有り難み、平和であり続ける為に自分達には何ができるのか、一緒に考えていかれたらと思います。

（澤 知子）



六会ふるさとまつり開催

「第45回六会公民館ふるさとまつり」～笑顔かがやくふるさとまつり～のテーマのもとに10月19日(土)と20日(日)10時～15時で開催されます。



会場：六会公民館・六会市民センター

主催：六会公民館ふるさとまつり実行委員会

内容については、舞台班、催物班、展示班に分かれて準備をしています。

気候危機アクション藤沢は気候時計の展示やマイクロビットカーのデモ(小学生親子プログラミング教室紹介)、これまでの活動紹介・これからの活動の紹介を予定しています。

その他、同館 1 階では日大馬術部や学園都市むつあい協力者会議(藤沢支援学校)などの展示。

2階では六会幼稚園、六会保育園、またの保育園、絵手紙「遊」、六会川柳、折りづる会、郷土づくり推進会議、防災リーダー連絡会、自治会連合会、気候危機アクション藤沢、男子チューボーの会などによる展示。和室：「藤友茶道会」の茶道体験も。

3 階ホール：フォークダンスや合唱、キッズダンスなど出演。

体育棟地下 2 階：六会中学校吹奏楽部や天神ばやし、俣野ばやし保存会、亀井野太鼓蓮、石川諏訪明神太鼓などの演奏・演技が予定されています。

駐車場では模擬店、焼きそば、かき氷など多彩な催しが繰り広げられます。

車での来場は不可。問い合わせは六会公民館【電話】0466-90-0203

(気候危機アクション藤沢 宮地俊作)

ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南

今夏は極暑だったが、様々な都合により、7 月 30 日から 8 月 2 日まで 3 泊 4 日、猛暑中のふくしまっ子受け入れになりました。

福島原発事故から 15 回続いていた「ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南」活動は、2020 年より約 4 年間、コロナ禍で湘南へ招待することができず、文集をつくったり、各家庭ごとの旅行やキャンプなどリフレッシュ活動への助成金を出したりしていました。しかし今年久しぶりに招待できることになり、皆張り切っていました。

ところがところが、募集したところ 3 家族 11 人が来ることになりましたが、少なかったうえ、前日になり、お子さんが手足口病に罹ったり、看護師の母親の職場でコロナが流行り、休みが取れなくなったりとハプニングが次々と起こり、結局 1 家族 4 人だけの参加となってしまったのです！

急に中止するわけにもいかず、藤沢のお友達を約 10 人集めてけん玉大会や大縄跳び、そしてボッチャで楽しむことができました。また招待した 1 家族の中に療育手帳を持っている 20 代のお兄さんがいて、私たちは障害を持つ方を招待するのは初めての経験でしたので、色々勉強になりました。



(ボッチャで遊ぶ)

福島の復興は進んでいるように見えて、暮らしは厳しく、避難者は全国にまだ 2 万 6 千人近くもいます。これからも様々な形で、末永く支援していきたいと思っています。ご支援よろしく願いいたします。

(福島の子どもたちとともに・湘南の会 青柳節子)

気候危機は待たなし！！市民講演会

9月23日(月)気候危機アクション藤沢結成4周年記念の市民講演会(後援:藤沢市・藤沢市地球温暖化対策地域協議会・特定非営利活動法人EEハーモニー)が開かれた。テーマは「2050年ゼロカーボン都市 藤沢をめざして」ー藤沢市の脱炭素と地域発展ーで、講師は歌川学氏(産業技術総合研究所主任研究員)。

歌川氏は、藤沢市でも2030年に大きな排出削減実現が可能、2050年実質ゼロを達成することができると述べた。

そのためには、地域の排出実態を把握し、地域で確実な対策、省エネ・再エネ対策を実施すること。各部門の典型対策の削減効果、2050年にむけた排出削減・対策ロードマップを作ることが重要である。

対策の実施には国・県の政策とともに、地域できめ細かな政策が求められ、専門的情報共有の仕組みなど等が必要であり、現状で膨大な光熱費を使いほぼ域外流出しているため、光熱費を減らし、地域にメリットがある施策が重要である。

「地域できめ細かな政策」として行政が市民と事業者などに情報を伝える仕組みづくり、頭金ゼロの省エネ再エネ設備普及の仕組み、地元優先の仕組み、地元業者が対策受注できるようにすることが挙げられる。各部門別の脱炭素対策が示された。他の自治体例や地域のモデル事業などもふれられた。豊富なデータを基に、わかりやすい講演であった。。

参加者からは「いろいろ身近でできる対策も紹介いただき、将来に向け切迫感をもっていました、できることがあると安心感を持ってました。本当に大丈夫だろうか。もう少し伺いたいこともあります。」という感想が寄せられています。

藤沢市においてCO2排出実質ゼロをめざし「気候変動の危機的状況を市民、事業者、行政などあらゆる主体が広く情報を共有し、協働して気候変動対策等に取り組む」(藤沢市気候非常事態宣言)に向けて、今後、これらを広く、市民のみならずと情報を共有していくために会のHPなどに公開する予定です。(宮地 俊作)



ECONET INFORMATION

▲藤沢市パブリックコメント募集

実施する案件 「藤沢市建築物再生可能エネルギー利用促進計画」の策定及び当該計画に伴う「藤沢市建築基準等に関する条例」の一部改正について(素案)

素案は市役所、市民センター、公民館で配布 市のHP意見提出 11月7日(木)(必着)までに素案をご覧の上、市のHP「パブリックコメント」から又は郵送、FAX、持参で建築指導課へ。

▲「藤沢市建築物再生可能エネルギー利用促進計画」策定に関する説明会

10月19日(土)10時～11時 市役所本庁舎
10月22日(火)午前7時～8時 善行公民館
詳細は市HP 建築指導課



▲「原爆の父」オッペンハイマーその“栄光と没落”から考える

講師 山崎 正勝(東京工業大学名誉教授)

10月18日(土)13:30～労働プラザ JR 石川町駅徒歩5分
主催 日本科学者会議神奈川支部 問合せ 080-1987-0994

▲ふじさわ平和文化展 10月8日～13日

藤沢市民ギャラリー ODAKYU 湘南 GATE6F

第3展示室 10時～19時

主催ふじさわ平和文化展実行委員会 44-5067

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 11月2日(土)10:00～

六会公民館

《編集後記》 長かった酷暑、お彼岸には開いていなかった彼岸花が、10月になって咲き始めた。

世界では熱すぎる戦争が広がっている。止める手立ではないのだろうか。ウクライナ、ロシア、パレスチナ、イスラエル、レバノン、そしてイランも！ 日本までアジア版NATOを、国防軍を、など恐ろしい事を言いだす首相が表れた。

核兵器は戦争の抑止力にはならず、武力を2倍、3倍にしても平和は訪れない。(A)